



一般社団法人
日本スポーツツーリズム推進機構

目次



1. 事業一覧	2
2. 活動一覧(抜粋)	4
3. Sport Accord Convention 2024	6
4. 第12回スポーツ振興賞	12
5. SPORTEC 2024(東京)	20
6. Japan Sports Week 2024	21
7. 第13回スポーツツーリズム・コンベンション in 沖縄	22
8. 「スポーツ×観光の可能性ーポスト万博の都市戦略」	29
9. スポーツによる地域活動支援ネットワークプロジェクト	30
10. スポーツ庁「地域スポーツコミッション基盤人材育成サポート事業」	32
11. 全国の地域スポーツコミッションが提供するサポート制度一覧	34
12. APEC SPORTS POLICY NETWORK	37
13. 2025 Sport Event Taiwan	40
14. ヘルスツーリズム認証	43
15. 千代田ツーリズムイノベーションベース(CTIB)	45
16. WEB サイトリニューアル	46
17. 2024 年度 JSTA 会員一覧(法人・公益法人・自治体・スポーツ団体)	47

1 | 事業一覧



●自主事業

月	日	区分	事業名	場所
6	14	総会	2024 年度定時社員総会	エッサム神田ホール・オンライン
7	16	主催	第 12 回スポーツ振興賞表彰式	東京ビッグサイト
10	26	共催	第 4 回関西国際空港を軸とした地域振興・観光振興研究懇談会 「スポーツ×観光の可能性ーポスト万博の都市戦略」 (主催:大阪観光大学)	大阪府大阪市
8	14-18	連携協力	スポーツによる地域活動支援ネットワークプロジェクト(SC 大館)	秋田県大館市
11	2-4	連携協力	スポーツによる地域活動支援ネットワークプロジェクト(新潟市文化・SC)	新潟県新潟市
1	11-13	連携協力	スポーツによる地域活動支援ネットワークプロジェクト(佐賀県 SC)	佐賀県佐賀市
2	20-21	主催	第 13 回スポーツツーリズム・コンベンション in 沖縄	沖縄コンベンションセンター

●後援・協力

月	日	区分	事業名	場所
4	20	後援	箱根ランフェス 2024	神奈川県箱根町
	20-21	後援	アジアトライアスロン選手権 (2024/廿日市)	広島県廿日市市
	26-28	後援	FIBA 3x3 World Tour Opener 2024	栃木県宇都宮市
5	3-5	後援	FIBA Universality-driven Olympic Qualifying Tournament 2	栃木県宇都宮市
	11-12	後援	2024 ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会	神奈川県横浜市
	26	後援	アジアトライアスロンカップ (2024/大阪城) / 大阪城トライアスロン 2024	大阪府大阪市
7	3-5	後援 出展	Japan Sports Week 2024	東京ビッグサイト
	7	後援	Baseball5 Exhibition Match2024 日本代表 VS 愛知県選抜チーム ／全国大学生交流試合 for SPORTS SDGs in Nagoya	愛知県名古屋市中区
9	20-22	後援	国際スポーツ&ウェルネスウィークエンド	
11	2	後援	J:COM presents 2024 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム	埼玉県さいたま市
	23-24	後援	ボッチャ交流会 第 5 回はちくんオープン	秋田県大館市
2	12	後援	マラソン SYMPO in ジャパン 2025	東京都新宿区

●受託事業・委員就任

区分	事業名	担当
受託事業	スポーツ庁:地域スポーツコミッション基盤人材育成サポート事業	JSTA
	大館市:地域おこし協力隊募集支援業務	滝田
	大館市:チャイニーズタイペイ・ボッチャ代表チーム関係者招聘業務	中山事務局長
	松江市:松江市スポーツコミッション設立に向けたアドバイザー業務委託	滝田
顧問	大阪城トライアスロン大会組織委員会	原田会長
委員	さいたまクリテリウム組織委員会	原田会長
	SPORTEC 実行委員会 実行委員長	原田会長
	『THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2025』実行委員	原田会長
	SDGs QUEST みらい甲子園千葉県大会実行委員会 実行委員会	利渉理事
	しずおかスポーツ産業ビジョン策定有識者会議	中山事務局長・滝田
	スポーツコミッション Shizuoka 戦略評価委員会	中山事務局長
	SportAccord Convention 2024 東京都出展アドバイザー	中山事務局長
	日本工学院八王子専門学校 スポーツビジネスコース職業実践教育編成委員会	中山事務局長
	福井県スポーツ推進審議会	藤原
	スポーツ庁:スポーツ市場規模に関する有識者検討会	藤原
	笹川スポーツ財団:地域スポーツ研究会	滝田

2 | 活動一覧（抜粋）



月	日	区分	活動	場所	担当
4	8-11	海外	SportsAccord Convention 2024	バーミンガム イギリス	原田会長 中山事務局長
5	28	オブザーバー	アジア・アフリカ・アラブ55 第31回定例会	東京都港区	中山事務局長
5	30	会議・委員会	「SportsAccord Convention 2024/IAEH」報告会	オンライン	中山事務局長 瀧山
6	19	講演	2024年 JICA 課題別研修「観光マーケティング・プロモーション」	JICA 東京センター	中山事務局長
7	9	オブザーバー	日本スノースポーツ&リゾーツ協議会 交流会	都市センターホテル	中山事務局長
7	16-18	連携・協力	SPORTEC2024:JSTA パビリオン 出展	東京ビッグサイト	JSTA
8	8	連携・協力	大塚製菓(株):JSTA 会員向け「熱中症対策アンバサダー講座」	オンライン	JSTA
8	9	コーディネート	「Sport Event Taiwan Workshop2024」登壇者調整(さいたまSC)	中華民国 台北市	中山事務局長
8	15	ヒアリング・取材	桐蔭学園高等学校	JSTA 事務局	中山事務局長
10	2	ヒアリング・取材	関東学院六浦高等学校	JSTA 事務局	中山事務局長 瀧山
10	14	連携・協力	宇部市スポーツコミッション「スポーツコミッションフェスタ」内開催『PLAY BALL 2024 in UBE』視察	山口県宇部市	井塚
10	19	講演	2024 宇都宮ジャパンカップクリテリウム	栃木県宇都宮市	原田会長
10	25	執筆	「自治体国際化フォーラム」第421号 11月号 「国内外の大規模スポーツ大会から学ぶ」 日本および海外におけるスポーツイベントを契機とした地域活性化プロジェクトの動向	(一財)自治体 国際化協会	原田会長
11	5	ヒアリング・取材	法政大学グローバル教養学部グローバル教養学科	オンライン	中山事務局長
11	8	講演	(公財)東京観光財団:令和6年度 第4回 TCVB ミーティング 「スポーツツーリズムの現状と未来」	東京都千代田区	原田会長
11	8	コーディネート	「Sport Event Taiwan Workshop2024」登壇者調整(さっぽろグローバルスポーツコミッション)	中華民国 台北市	
11	11	講演	新潟県:スポーツ資源を活用した交流人口拡大セミナー	新潟県新潟市	中山事務局長
11	15	ヒアリング・取材	横浜スポーツ&医療ウェルネス専門学校:研修旅行		中山事務局長 井塚
11	17		日本トライアスロン連合 30周年記念式典出席	東京都港区	原田会長
11	26	講演	横須賀市議員研修会「スポーツによる地域活性化とまちづくりの最前線」	神奈川県横須賀市	原田会長
11	26	ヒアリング・取材	立教大学 社会学部社会学科		滝田
11	29	オブザーバー	アジア・アフリカ・アラブ 55 第7回総会	東京都港区	中山事務局長 井塚
12	17	講演	中村学園大学 流通科学部	福岡県福岡市	中山事務局長

12	25	執筆	観光経済新聞【VOICE】:スポーツツーリズムからスポーツまちづくりへ		原田会長
1	1	ヒアリング・取材	季刊誌「AQUA BOOK」第36号 2024 Vol.9/SEASON.4 「スポーツが街を盛り上げる」	アクアブック社	JSTA
1	10	講演	経済産業省北海道経済産業局:「スポーツ×α」の可能性を探る勉強会	北海道札幌市	原田会長
1	14	パネリスト	「TAKAMATSU スポーツコミッションプロジェクト」 パネルディスカッション	香川県高松市	藤原
2	5	講演	土木学会 第7回 地方創生シンポジウム「スポーツツーリズムと銚子創生」～銚子スポーツタウンによる地域活性化の取組みと展望～	東京都新宿区	中山事務局長
2	6	会議・委員会	APEC Sports Policy Network (ASPN) Round Table Meeting & Forum	神奈川県横浜市	中山事務局長 瀧山
2	14	講演	愛媛経済同友会 スポーツ振興委員会	愛媛県松山市	藤原
2	28	オブザーバー	アジア・アフリカ・アラブ55 第32回定例会	東京都港区	中山事務局長
3	27	講演	2025 SET Workshop Launch Forum MOU 調印式、パネルディスカッション参加	中華民国 台北市	原田会長 中山事務局長

3 | Sport Accord Convention 2024



SportAccord Convention2024報告

出張者: (一社)日本スポーツツーリズム推進機構
原田 宗彦・中山 哲郎

【イベント概要】

イベント名: The SportAccord World Sport & Business Summit
(第18回)

開催都市: バーミンガム、ウエスト・ミッドランド州(カウンティ)、イギリス
(2022年英連邦競技大会開催都市)

開催期間: 2025年4月8日～11日

特記事項: 2019年ゴールドコースト以来の開催。

※2020年北京はコロナ禍のため開催中止

2021年5月にエカテリンブルグ(ロシア)に移して開催計画されたが、2022年11月に再延期。

2022年ロシアのウクライナ侵攻により中止

2023年9月GAISF(Global Association of International Sports Federations)の解散により、主催がSportAccordに変更

参加者数: 1,857(41.7%＝UK、58.3%＝海外)

※海外の内訳 スイス38.8% USA7.7% ドイツ5.6%、日本4.5% デンマーク4.1%

出展者数: 44(地域・施設18 サプライヤー13 スポーツ団体13)

※数値についての出典: QUANTUM EVENT EVALUATION REPORT/SportAccordWorld Sport & Business Summit 2024



【日本からの参加】

ブース出展: 日本スポーツ振興センター(JSC: Japan Sports Council)、東京都

東京都の出展に際しては、JSTAから過去事例、ブース出展時の対応、参加者特性等についてアドバイスをを行った。

2013～2019年はJSC及びJSTAが代表者となり出展希望自治体(スポーツコミッション)、日本開催組織委員会、企業を集約し日本ブースとして共同出展していたが、Tokyo2020の終了や冬季オリンピック・パラリンピック招致断念が影響し、複数出展者の集約が不可能となった。今回は札幌市・JSTAはブース出展せず、イベント・会議参加のみとなった。



【JSTAの参加目的】

(1) 国際競技団体(IF等)・スポーツイベントライツホルダー・開催都市・スポーツメディア・スポーツマーケティング会社 等とのネットワーキングや会議参加により世界のスポーツ関連業界の動向を把握する。

①RWC2019・Tokyo2020後の日本開催国際大会誘致の可能性

②国際間競争の少ないスポーツイベントのオーガナイザー動向把握

(2) International Association of Event Hosts (IAEH:国際スポーツイベント開催都市連合)との連携強化

①IAEH Annual General Meeting(年次総会) 出席(2024年4月8日)

②IAEHから派生した中華民国教育部体育署(スポーツ庁)との連携、国のみならず都市間のスポーツ交流の促進

※実績: Sport Event Taiwan Workshop2021～2023オンラインワークショップ講演者協力、APEC Sport PolicyNetwork2018/2023東京開催への協力、スポーツ交流希望台湾訪問自治体対応(秋田県大館市:チャイニーズタイペイパラリンピック委員会との面談設定⇒2024、年11月チャイニーズタイペイボッチャチーム招聘

埼玉県さいたま市: Tour de France Saitama Criteriumの紹介・札幌市 Winter Sports Cityの取組紹介 等

③海外のスポーツコミッション情報の把握

※実績: 2023年度スポーツ庁(USAスポーツコミッション調査)の調査先選定(2024年度は欧州地域の調査を実施)

Conference Program -CITYACCORD



4月9日	テーマ・登壇者(モデレーター)	内容・登壇者
9:30-9:35	開会挨拶 メラニー・デュパルク 世界オリンピック都市連合事務局長	スポーツは、健康やウェルビーイングの向上、市民としての誇りや社会的結束、技能や雇用の強化、持続可能性やアクティブな移動の促進など、公共政策上の大きな課題に貢献する上で、強力な役割を果たすことができる。ますます複雑化する世界において、私たちは何を学び、どのように投資のケースを作り続けるのか。
9:35-10:30	都市開発と再生のケーススタディ デイヴィッド・イーズ(BBC)対談 ・クリス・ボードマン、MBE、アクティブ・トラベル・イングランド委員、スポーツ・イングランド委員長、オリンピック金メダリスト、ツール・ド・フランスのステージ優勝者兼イエロージャージ保持者、アワーレコード保持者	アクティブ・トラベル、スポーツ、そして都市をより文明的に、より繁栄させ、より健康にするために クリス・ボードマンは、プロのサイクリストとして大成功を収め、その後、より多くの人々にウォーキングやサイクリングを楽しんでもらうというアクティブ・トラベル・イングランドのミッションと、スポーツや身体活動を日常生活の一部として定着させるといふスポーツ・イングランドの活動の両方を率いることになった。何がうまくいき、何がうまくいかなかったのか、都市レベルでの政治的意志の重要性、そしてこの分野で都市が互いに学べることは何かを探る。
10:30-11:15	ROUNDTABLE: More than just sport モデレーター ペン・アヴィソン(ホストシティ、エディトリアル &カンファレンス・ディレクター)	ファン、住民、アスリートを魅了する、より魅力的で包括的なイベントの創造。 フェスティバル化はどこまで可能か？ ・クリス・ジェンメル、世界トライアスロン大会マーケティング・コマーシャル部門責任者 ・ゲオルク・スバジエ、ITS GmbH CEO、インスブルック・ワールドマスターズゲームズ ・ニコラ・ターナー MBE、United By 2022 CEO ・アラナ・ヴォート、オリンピック・パラリンピック競技大会ブリスベン2032プログラムマネージャー、ゴールドコースト市

※CITY ACCORDのKeyword: “FESTIVALISATION” 「スポーツイベントのフェスティバル化」

Conference Program -CITYACCORD



4月9日	テーマ・登壇者(モデレーター)	内容・登壇者
11:15-12:00	ROUNDTABLE: 大陸を越えた前途 モデレーター スーザン・ソーブリッジ デライト社マネージング・パートナー、ニュージーランド	開催都市、地方政府、国家政府にとってますます厳しくなる環境の中で、新たなイベントモデル、成功例、イノベーションを探る。 ・エスター・ブリテン、UKスポーツ、主要イベント責任者 ・ジェームス・ブルリー、トリヴァンディCEO ・ペルトウ・ベサ、国際イベント・ホスト協会会長 ・ケイティ・サドレア、コモンウェルス・ゲームズ連盟CEO
12:00-12:30	スコットランド・ザ・パーフェクト・ステージ デイヴィッド・イーズとの対談	2014年コモンウェルス・ゲームズ、2018年ヨーロッパ選手権、2023年UCIサイクリング世界選手権など、スポーツの変革力に関する21年間の経験を振り返る。 ・ポール・ブッシュ、OBE, CEO、イベントスコットランド

Conference Program -MEDIAACCORD

※MEDIAACCORD後半、LAWACCORDプログラムは省略

4月11日	テーマ・登壇者(モデレーター)	内容・登壇者
14:15-15:00	メディアのレンズを通したパリ モデレーター ジェームズ・ピアース (コミュニケーション・コンサルタント、メディア・トレーナー)	技術的に最も複雑で、視覚的にも素晴らしいオリンピック・スペクタクルになることが約束されている。放送と制作のクリエイティビティに新たなスタンダードを打ち立てながら、パリが世界にその扉を開くとき、何が期待されるのか、その先行公開をお楽しみください。 ・ピエール・ガリ、フランス通信社スポーツ部長 ・ヤニス・エグザルコス、OBS最高経営責任者、オリンピック・チャンネルエグゼクティブ・ディレクター

Pleanary Conference Program 本会議



4月10	テーマ・登壇者(モデレーター)	内容・登壇者
9:30-9:40	開会挨拶 デイル・キャサリン・グレインジャー UKスポーツ委員長	
9:40-10:20	インタラクティブ・エンターテインメント エピック・ゲームズ副社長兼共同創設者 マーク・ライン氏とモデレーターのデビッド・イーデス氏(BBC)との基調対談	ゲームがメディア、世界、そしてスポーツをどう変えるか マーク・ライン氏はゲームマニアである。世界有数のインタラクティブ・エンターテインメント企業であるエピック・ゲームズの副社長であり、世界で最も成功したオンライン・ビデオ&ゲーム・プラットフォーム「フォートナイト」を生み出した。また、キャロライナ・ハリケーンズNHLチームの共同オーナーでもあり、馬術競技にも深い愛情を注いでいる。かつてマークは「有名なほど口が達者で、意見も多く、そして賢い」と評されたが、ゲームとesportsで重要な役割を果たそうとするスポーツ界に、彼の業界がもたらすチャンスと限界について、デビッド・イーデスと率直に話している。
10:20-11:05	ゲームとesports モデレーター デビッド・デルレア、アルトマン・ソロン、スポーツ・プラクティス部門ディレクター	スポーツ権利者にとっての真のチャンスか、それとも一時的流行か？ ゲーミングとesportsの領域において、さまざまな権利保有者や連盟が保有する知的財産の潜在的な価値とは何か？ •アリス・デアリング、オリンピックオープンウォータースイマー、ゲーマー •アルバン・デチェロツテ、G2CEO、IOC Esports委員会 •ポール・フォスター(Global Esports Federation CEO) •アレックス・イングロットESLプロリーグコミッショナー

Pleanary Conference Program 本会議



4月10日	テーマ・登壇者(モデレーター)	内容・登壇者
11:05-12:05	タッチダウン、ホームラン、スラムダンク モデレーター サラ・マルケリンズ(BBC)	スーパーボウル2024は、予想外の方法でファンベースを拡大し、そのチャンスを生かす可能性を示した。このパネルディスカッションでは、長期的にブランドを構築し、ファンとのエンゲージメントに投資するための創造的なアプローチについて、北米からの教訓を考察する。 •ロブ・アルベリーノ、カンザスシティ・チーフス、コンテンツ・プロダクション担当副社長 •マーク・チャンバ、ニュージャージー・デビルズ、コンテンツ担当副社長 •ブレット・ゴスパー、NFLヨーロッパ・アジア太平洋地区責任者 •スコット・ケグリー(アトランタ・ファルコンズ、デジタル戦略担当副社長)
14:00-14:35	スポーツの完璧な嵐 デビッド・イーデス氏(BBC)との対談	新たに発表された「スポーツのパーフェクト・ストーム」の著者であるロジャー・ミッチェル氏が、スポーツ・エコシステムを支える財政構造の脆弱性など、連盟やスポーツの権利保有者が直面している深刻な構造的課題を探る。 •ロジャー・ミッチェル、企業金融家、スコティッシュ・プロフェッショナル・フットボール・リーグ創設CEO、「スポーツのパーフェクト・ストーム」著者
14:35-15:20	チャレンジに立ち向かう モデレーター サラ・マルケリンズ(BBC)	地政学的な不安定さ、大規模なイベント開催における複雑さの増大、ファンの行動パターンの変化、財政的な課題など、スポーツはどのように立ち向かえばよいのだろうか。 •クリス・アーガイル＝ロビンソン、リサーチ&ストラテジーディレクター、レッドトーチ共同設立者 •アラン・ギルピン、ワールドラグビーCEO •クリス・ジェンキンス OBE、コモンウェルスゲームズ連盟会長 •サイモン・クーバー、作家、ジャーナリスト、フィナンシャル・タイムズ紙 •ゼナ・ウールドリッジOBE、ワールド・スカッシュ会長

Pleary Conference Program 本会議



4月10日	テーマ・登壇者(モデレーター)	内容・登壇者
15:20-16:20	スポーツの未来像 プレゼンター兼モデレーター アン ディ・ミア(マンチェスター、サル フォード大学、サイエンス・コミュニ ケーション&フューチャー・メディア学 科教授)	スポーツ界を形作る主なテクノロジートレンド ひとたび新しいテクノロジーがあなたの上に転がり込んできたら、もしあなたがスチーム ローラーの一部でないなら、あなたは道路の一部となる」。この言葉は、今日と明日の テクノロジーの可能性と、最も機敏なスポーツ組織にとつての課題を捉えたものである。 アンディ・ミア教授は、創造的なAIから空間コンピューティングまで、私たちの前にあるテ クノロジーの道筋を示し、スポーツがハイテクの未来に歩調を合わせるだけでなく、加 速していくにはどうすればよいかを議論する。 •デイヴィッド・ファウラー、スポーツテックマッチ共同設立者 •ベス・ジョンソン、アンブレラ社マネージング・ディレクター •スラブ・ソラル、デロイトUK、AI部門責任者、人工知能に関する全政党議会グループ諮 問委員会メンバー
4月11日	テーマ・登壇者(モデレーター)	内容・登壇者
9:30-9:40	開会挨拶 デイビッド・イーデス、(BBC) 司会兼モデレーター	
9:40-9:55	スポーツにおけるオンライン虐待へ の取り組み ウェイン・バーンズ、元ワールドカッ プ・レフェリー、デイビッド・イーデスと 基調対談	ウェイン・バーンズ氏は、ラグビーの国際試合111試合のレフェリーを務め、そのキャリア は2023年のラグビーワールドカップ決勝戦(パリ)で頂点に達した。しかし、その最終戦 は、怒りに燃えた、たいていは匿名のファンの手によるネット上での罵詈雑言のピーク でもあった。家、家族、そして人生に対する脅迫は、彼が受けた中傷の一部だった。こ れらの体験が、「世界のラグビー界で最も実績があり、最も中傷されたレフェリー」と評さ れる彼にどのような影響を与えたのか、話を聞いた。

Pleary Conference Program 本会議



4月11日	テーマ・登壇者(モデレーター)	内容・登壇者
9:55-10:10	ソリューションズ・イン・アクション	スポーツにおけるオンライン不正行為の現状について、地球上で最も大きなスポー ツイベントのいくつかから収集した洞察と学びを共有し、テクノロジー、スポーツ団体、 法執行機関がどのように協力して、アスリートや役員にとってより安全なオンライン 環境を作り出しているかを紹介する。•ジョナサン・ハーシュラー、シグニファイCEO
10:10-10:55	誰の責任? モデレーター デイビッド・イーデス(BBC)	選手、関係者、ファンが受ける虐待の増加レベルを克服する。 •ウェイン・バーンズ、元ワールドカップ審判員 •サンジェイ・パンダリ(キック・イット・アウト委員長 •ジャニー・フランプトンOBE、国際スポーツ役員連盟副会長 •サラ・グレゴリウス(FIFPRO女子サッカー部グローバル政策・戦略関係ディレクター •ジョナサン・ハーシュラー(シグニファイCEO
10:55-11:25	境界線を突破する: スポーツ傷害デー タと科学の未来	Podium Analytics社による、あらゆるスポーツにおける怪我を減らすための画期的な データ主導のアプローチ。 •コンスタンチン・クーシオス教授(オックスフォード大学ホーズムスポーツ医科学研究所所長 •アンディ・ハント(Podium AnalyticsCEO
11:25-12:10	国際的なディプロマシーの動き - スポーツのソフトパワーを活用する	世界におけるスポーツの影響力が、かつてないほど鋭く問われている。世界政治か ら地域活動、倫理的、道徳的な課題まで。このパネルディスカッションでは、世界的 な緊張が高まり、社会的な圧力が加速している今、スポーツの可能性を最大限に生 かす方法について考える。 モデレーター・サイモン・ロフェ博士(リーズ大学外交・国際研究科リーダー/准教授 •リズ・ニコル DBE、ワールド・ネットボール会長、UKスポーツ前CEO •ニール・ラミ、ウエスト・ミッドランズ・グロース・カンパニー最高経営責任者 •ジェイソン・ウィリアムズ、トリニダード・トバゴ・スポーツ・カンパニーCEO

今後の国際活動について



●オリンピック開催都市選考方法がIOCと開催候補都市との対話形式に変更となっているので、かつてのような開催候補都市がPRとロビー活動の場として活用していた状況から、SportAccord Convention自体の位置づけ・価値が変化しており、コロナ禍後の状況もあり出展者数も減少している。また日本においてもTokyo2020終了後の日本開催国際大会については単独競技の開催が焦点となっており、招致方法・チャネルについても個々の競技特性と開催都市の特徴のマッチングを十分考慮する必要がある。IF等が集まる類似イベントもあり、国際大会誘致につながるイベントの研究が必要である。2024年度のSportAccord Conventionについては、地元イギリスの参加者・出展者は目立ったものの、今まで常連のオランダ・カタール・中国等の出展者は見られなかった。

●各種国際大会日本開催については、府県レベルの地域スポーツコミッションの設立が相次いであり、政令市を含めて誘致意向があると判断している。札幌市については、冬季オリパラ招致は断念したものの、引き続き冬季競技を中心に世界選手権・ワールドカップ等の国際大会を誘致の意向であり、JSTAがどの分野で役割を果たせるかは課題である。

●台湾からの訪日リピーター客の拡大も相まって、より地方での体験を求める傾向がある。スポーツイベント・アクティビティプログラムの提案がより重要になると思われるので、中華民国教育部体育署（スポーツ庁：2025年8月にスポーツ省に昇格予定）との連携はJSTAのセールスポイントであり、自治体・地域SCがこのネットワークを活用いただきたい。

●2025年度のSportAccord Convention 開催都市の選定が遅れ、2025年3月13日にイスタンブール（6月開催）で一旦決定したが、イスタンブールでの政変を理由に4月9日に開催中止となった。SportAccord Convention自体の存在意義を問う状況と言える。



4 | 第12回スポーツ振興賞



- 応募期間：2024年4月8日～6月7日（当日消印有効）
- 授賞式：7月16日「SPORTEC2024」会場内において開催
- 応募件数：35件
- 受賞作品：

☆スポーツ振興大賞☆	
作品名	第6回 ロゲイニング in なごや（ロゲなご 2023）
応募者	公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー
作品の概要 ロゲイニングは設定されたチェックポイントを制限時間内に回って得点を積み上げるアウトドアナビケーションスポーツである。「ロゲイニング」を通じて、健康促進、各地域への回遊性や魅力スポットの認知度を高める。チェックポイントを、観光スポットや「なごやめし」店舗に設定することで、スポーツと観光の両面から誘客を図り、効果的な人流と消費を創出。歴史や女子旅などの切り口で大会コンセプトを設定し老若男女がゲーム感覚で楽しむとともに、参加者自らがSNS等へ地域の情報を発信するよう促している。様々な目的の参加者が同じフィールドでスポーツに取り組むことができ、コロナ禍においても三密にならないイベントとして一度も中止することなく継続して開催しているイベントである。本イベントは、約50社の協賛や公共交通機関との連携を通じ成長中であり、国内では唯一、1,000人規模の参加者が一斉にスタートするロゲイニングイベントである。	



【スポーツ振興大賞】
公益財団法人名古屋観光
コンベンションビューロー



【日本スポーツツーリズム推進機構会長賞】
一般社団法人ツノスポーツコミッション

☆スポーツ振興賞（6作品）		
スポーツ庁 長官賞	作品名 応募者	スポーツの力を活用したヘルスケア SIB 事業「ロアッソウェルネスプログラム」 株式会社 J.H. Wellness
	作品の概要 少子超高齢社会における社会課題である「健康寿命の延伸」。「予防」のための運動習慣の継続は、健康なうちから始めたいもの。しかし従来の「介護予防」のイメージにより、地域の運動を伴う通いの場参加者は、後期高齢者や介護保険の事業対象者が主となっており、男性や前期高齢者が、地域で運動習慣を継続できる場が少なかった。そこで、スポーツの力を活用した介護予防事業を、地域を代表するJリーグクラブである「ロアッソ熊本」との連携で実現した。また新しい取り組みを自治体で実装するために、SIBを活用した。ロアッソ熊本オリジナルTシャツを着て3カ月12回の運動プログラムで構成されるこの事業は2023年度、年間493名が参加し、参加者層は従来の通いの場と比較して男性が10%弱の増加、前期高齢者が45%以上の増加となった。当事業では、プロスポーツクラブのカラーやロゴなどの商標やブランド、またこれに伴う有形・無形の力によって、今までの介護予防事業のイメージを変化させ、地域愛着が醸成される。「一生ここで暮らしたい」と考えている高齢者が多い中、地域愛着の醸成が運動継続による健康寿命延伸に寄与することが期待できる。	
観光庁 長官賞	作品名 応募者	おわせ海・山ツーデーウォーク おわせ海・山ツーデーウォークおわせ海・山ツーデーウォーク実行委員会
	作品の概要 世界遺産熊野古道が通る街「尾鷲市」。三方を山に囲まれた地形は、非常に雨の多い地域であるが、その多雨から道を守るために敷かれた重厚な石畳は、熊野古道随一と言われる程に美しく敷き詰められており、馬越峠を通るコースは毎回人気である。 本大会は、社団法人日本ウォーキング協会、三重県ウォーキング協会の協力のもと、オールジャパンウォーキングカップなど4つの認定を取得し、全国的なスポーツ振興に貢献している。また、熊野古道を踏破するコースを設けるだけでなく、リアス式海岸の地形を活かした絶景が臨めるコースや、漁村集落ならでの雰囲気味わえる探訪コース、観光ガイドや語り部と共に歩くまち歩きコースなどを毎回工夫を凝らして設定しており、さらにその道中では尾鷲市でしか手に入らないスイーツや郷土料理でおもてなしを行うことで、食文化の継承と発信も行っている。 尾鷲市ならではの風景・潮の香り・波の音が楽しめる、歩きたくなる・訪れたくなる魅力的なコースとともに、おもてなしやそこに携わる地域住民との触れ合いなど、五感をフルに使って楽しむことができる心満たされるウォーキングイベントである。	

経済産業省 商務・サービス審議官賞	作品名 応募者	国内唯一 アマチュア向けスポンサードカスタムユニフォーム 「Outfitter」で青少年育成と地域活性化 イオン・シグナ・スポーツ・ユナイテッド株式会社
	作品の概要 「Outfitter」は、お客さまが選んだスポンサー企業のロゴを印字したオリジナルウェアをオンラインで簡単に作成・購入ができ、スポンサー企業のロゴを入れる位置や個数に応じて、ユニフォームやチームウェア代金の10%～50%の割引が受けられる国内唯一のサービスです。商品としては、サッカー・フットサル、バレーボール、バスケットボール、チームウェア（Tシャツ、ポロシャツ、ピステ、ジャージ、パーカー）があり、2020年にローンチし、約4年間でユニフォーム累計受注件数約5,500件、受注枚数約55,000着と多くのアマチュアスポーツを支援しています。今後も ASSU は、さまざまな協業先とともに協働することで、スポーツコミュニティの活性化に取り組み、地域スポーツの振興とみなさまの健康増進のベストパートナーを目指してまいります。	
日本商工会議所 奨励賞	作品名 応募者	冬季間の地域住民の健康と地域特性を活かした、新たなツーリズム創出を目指すウインターパーク くしろウインターパーク実行委員会
	作品の概要 この事業は、地域住民の健康促進と冬季観光コンテンツ創出を目的に2021年、コロナ禍にスタートしました。釧路商工会議所青年部と東北北海道スポーツコミッションが共同で、雪・氷・寒さを地域特性として活かし、冬季に未使用の公園に7万球のイルミネーションを飾った珍しい散歩道型スケートリンクを設営しました。スケートリンクに加え、キッズ雪広場、アイススライダー、冬キャンプブース、長靴ホッケー、氷上サッカー、シュート体験、氷上綱引き、アイスクロスなど、他地域にはない独創的な体験イベントも開催。釧路名物「炉端」で地場の海産物も味わえるパークとなり、300人を超える幼稚園児が手作りしたペットボトルイルミネーションが会場を彩ります。青少年、民間企業、行政、商工会議所、多くの障がい者も設営に参加し、共生社会の実現を目指しつつ地域一丸でパークを運営。地域住民に愛されるこのパークは、冬季観光産業の起爆剤となり、地域活性化を推進します。将来的には札幌雪まつりに匹敵する北海道の代表的な冬の一大事業に成長させたいと考えています。	

日本スポーツツーリズム推進機構 会長賞	作品名 応募者	ツノスポーツアカデミー 一般社団法人ツノスポーツコミッション
	作品の概要 ツノスポーツアカデミーは、閉校した町内唯一の高校の代わりとなる新しい形の学校として2020年 に開校。「良き社会人であれ」という育成哲学のもと、「スポーツ」「生活」「教育」「職育」「地育」の5つの活動を通じたデュアルキャリア教育を実践。「スポーツ」では、Jリーグ昇格を目指すヴェロスクロノス都農の下部組織として、充実した環境のもと質の高い指導で選手の可能性を広げる。「生活」では、設備やサポート体制の整った寮で町外、県外からの選手を受け入れ、高い目標を持つ仲間との共同生活により自立・自律した大人を目指す。「教育」では、提携する通信制高校に通いながら、個々の学びたい分野を重点的に学べる教育プログラムや独自の進路サポートプログラムで一人ひとりの キャリアを支援。「職育」では、地域の受入事業者での仕事を通じて、働くことの意義や大変さ、楽しさを学び、将来のキャリアの選択肢を広げる。職育で得た報酬をサッカーの費用や海外留学の資金、卒業後の進路のための備えにする選手も。「地育」では、地域の行事やイベントに積極的に参加するだけでなく運営にも携わる。地域の多様な世代と関わる中で、地域社会の一員としての自覚を持ち、地域を引っ張るリーダーへと成長を促す。これらの活動を通じて、地域が一体となって若者を育成し、また若者も地域の担い手として地域を支えている。	
スポーツ健康産業団体連合会 会長賞	作品名 応募者	金沢市ボディビル・フィットネスオープン大会 金沢市ボディビル・フィットネス連盟
	作品の概要 性別、年齢を問わず出場しやすく全国から出場可能のボディビル・フィットネス大会を運営しています。毎年他県からの出場者、観戦者に金沢を訪れて頂いてます。学生が参加し易いように参加料に学割価格を設定。2024 年度からは中高年からトレーニングを始める方の為に50歳以上のマスターズ クラスを新設。2023 年度から男女車椅子カテゴリーを新設。国際大会同様のカテゴリーの他に初心者も参加し易い独自カテゴリーも設けております。 また、金沢市スポーツ協会に加盟し、市民の健康増進の一貫としての市民スポーツ大会としての大会も開催。ボディビル・フィットネス大会を通じて、場所や地域を選ばない生涯スポーツとしてのトレーニングを体作り、健康増進、介護予防として活用する方を増やし、やりがいと発表の場として大会に出場する生涯方の為に出場しやすい大会の開催を心がけてます。大会出場希望者を対象とする講習会を複数回（年平均5回）開催する事で連盟と選手、また選手同士が交流を持つ事により継続的に参加選手が増加しております。個人スポーツであるボディビル・フィットネス選手が増加する事による地域経済効果に貢献しています。	

スポーツ振興賞 募集要項



公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会と一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構では、「第12回スポーツ振興賞」を募集します。

スポーツや障がい者スポーツを通じて健康づくりをし、ツーリズムや産業振興、地域振興(まちづくり)に貢献されている団体、グループ、企業の方々の活動を顕彰するものです。応募作品の中からスポーツ振興大賞1点、スポーツ振興賞として5点(予定)を表彰します。皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

応募締切/令和6年5月29日(水)

■応募方法

応募にあたっては、下記の選考基準を勘案して以下の書類を作成し、電子データで(公社)スポーツ健康産業団体連合会(スポ団連)宛、及び、(一社)日本スポーツツーリズム推進機構宛にお送りください。

① エントリーシート

- ・事業概要や事業概要や活動内容を記載。
(スポーツを通じた健康づくり及びスポーツを起爆剤としたツーリズム、産業振興・地域振興(まちづくり)の貢献、活動の経緯、活動組織の内容、特筆すべき点、今後の展開など)
- ・全体の要約を500字でまとめて記載。
- ※補足資料があれば、動画以外のデータ(PDF、WORD等)を3点以内でエントリーシートと併せてご提出ください。

② 写真

エントリーシート内のフォーマットに写真10枚程度添付と説明文を書き添えいただき、写真データも別途ご提出ください。
なお、動画素材の提出はご遠慮ください。

- ※新型コロナウイルス感染症拡大下であったことを鑑み、過去の実績によるご応募でも差し支えございません。
- ※過去スポーツ振興賞受賞団体においても受賞企画以外、スポーツ振興大賞受賞者以外は再応募可能です。

■選考方法

応募のあったものの中から、(公社)スポーツ健康産業団体連合会と(一社)日本スポーツツーリズム推進機構が共同で設置するスポーツ振興賞選考委員会において選考の上、決定します。

■選考基準

【健康づくり・まちづくり】

スポーツや障がい者スポーツを通じて健康づくりをしているか。
スポーツや障がい者スポーツを起爆剤としてツーリズムや産業振興、地域振興(まちづくり)に貢献しているか。

【市民参加】

市民が積極的に参加できる仕組みがつけられているか。

【交流・連携】

国内外を問わず交流や連携が行われているか。

【事業の健全性】

事業の内容及び活動が健全であるか。(財務、スポンサー集め、マーケティングに関して等)

【継続・発展】

SDGs、ダイバーシティ、環境対応への配慮、新しい生活様式に配慮する等の取組を取り入れ、活動が継続的に行われ、将来の発展性が見られるか。

【望ましい事項】

独創性に富んでいる。イメージ向上に貢献している。
新聞、テレビ、ラジオ等で取り上げられている。参加者の継続的な増加、地域の経済発展への効果が見られる、等。

■表彰内容

★スポーツ振興大賞 1点	……	賞状、トロフィー、副賞20万円
★スポーツ振興賞 各1点	……	賞状、トロフィー
・スポーツ庁長官賞(予定)		
・経済産業省商務・サービス審議官賞(予定)		・日本商工会議所 奨励賞(予定)
・日本スポーツツーリズム推進機構 会長賞		・スポーツ健康産業団体連合会 会長賞

■審査結果発表、表彰式、受賞者による事業発表

- ・審査結果の発表は令和6年6月下旬を予定。
スポーツ健康産業団体連合会、日本スポーツツーリズム推進機構のホームページにおいて受賞者の活動内容を広く周知するとともに、報道機関にもプレスリリースいたします。
- ・表彰式は、令和6年7月16日(火)開催の「SPORTEC2024 展示会(東京ビッグサイト/スポーツ健康産業団体連合会特別協力)」の席上を予定しています。(その時の状況により変更になる場合もございます。)
- ・表彰式後、受賞者による受賞事業の活動発表を予定しています。

【電子データ送付先・お問合せ】

■公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会 事務局(担当:高田)

TEL:03-6434-9510 / E-mail: jimukyoku@spo-danren.jp / URL: <https://www.jsif.or.jp/>
住所:〒160-0004 東京都新宿区四谷3-2-1 フロントプレイス四谷7階(TSO international株式会社内)

■一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構(担当:井塚)

TEL:03-6441-2045 / E-mail: info@sporttourism.or.jp / URL: <https://sporttourism.or.jp/>

令和6年7月2日

第12回スポーツ振興賞の発表
～東京ビッグサイトで授賞式を開催～

公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会（東京都新宿区）と一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構〔JSTA〕（東京都千代田区）は、スポーツ振興賞選考委員会の審査を踏まえ、スポーツや障がい者スポーツを通じて健康づくりをし、ツーリズムや産業振興、地域振興（まちづくり）に大きく貢献した団体、企業等を顕彰するとして第11回スポーツ振興賞の各賞の受賞作品を発表します。

応募総数35件の作品の中から最も優れた作品に「スポーツ振興大賞」を、優れた作品に「スポーツ振興賞」として、スポーツ庁長官賞、観光庁長官賞、経済産業省商務・サービス審議官賞、日本商工会議所奨励賞、日本スポーツツーリズム推進機構会長賞、スポーツ健康産業団体連合会会長賞の6点を選定しました。授賞式は、来る7月16日（火）に東京ビッグサイト（東京都江東区）の会場で行います。

公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会と一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構はスポーツ振興賞選考委員会で慎重、厳正に審査された結果を踏まえ、以下の作品を受賞作品として決定した。

・受賞作品一覧

★スポーツ振興大賞

作品名： 第6回 ログイニング in なごや（ログなご 2023）
応募者： 公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー

★スポーツ振興賞

○スポーツ庁 長官賞

作品名：スポーツの力を活用したヘルスケア SIB 事業
「ロアッソウェルネスプログラム」
応募者：株式会社 J. H. Wellness

○観光庁 長官賞

作品名：おわせ海・山ツーデーウォーク
応募者：おわせ海・山ツーデーウォーク実行委員会

○経済産業省 商務・サービス審議官賞

作品名：国内唯一 アマチュア向けスポンサードカスタムユニフォーム
「Outfitter」で青少年育成と地域活性化

応募者：イオン・シグナ・スポーツ・ユナイテッド株式会社

○日本商工会議所 奨励賞

作品名：冬季間の地域住民の健康と地域特性を活かした、
新たなツーリズム創出を目指すウインターパーク 2

応募者：くしろウインターパーク実行委員会

○一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 会長賞

作品名：ツノスポーツアカデミー

応募者：一般社団法人ツノスポーツコミッション

○公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会 会長賞

作品名：金沢市ボディビル・フィットネスオープン大会

応募者：金沢市ボディビル・フィットネス連盟

・選考委員の受賞作品に対する意見

○作品名：第6回 ロゲイニング in なごや（ロゲなご 2023）

応募者：公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー

- ・ロゲイニングを通じて、健康増進を図ることもでき、観光スポットの魅力の認知度を高められている。地域全域がフィールドとなり、スポーツと観光の両面から産業振興や地域振興を推進できる点を高く評価。幅広い層の人たちが参加し易いロゲイニングの都市型の成功例であり、他地域も参考となる事例である。スポーツ×観光の地域振興として非常に魅力的な取組である。

○作品名：スポーツの力を活用したヘルスケア SIB 事業「ロアッソウェルネスプログラム」

応募者：株式会社 J.H. Wellness

- ・SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）の手法で行うことで、地域における健康づくりを持続的なものとする仕組みづくりを目指している点や、地域のサッカークラブとの連携など新しい手法への挑戦が評価できる。介護・医療との連携ができており高齢化社会のスポーツのあり方を示している。効果検証を踏まえてさらに取組を推進していこうという姿勢を高く評価。

○作品名：おわせ海・山ツーデーウォーク

応募者：おわせ海・山ツーデーウォーク実行委員会

- ・地形や文化財など市内の様々な魅力ある地域を舞台としたウォーキング大会である。地域資源の活用したコース設計だけでなく参加者が魅力的な郷土文化に触れる機会を創出し、社会課題の解決を盛り込んだプログラムが好印象。ローカルイベントにとどまらず、オールジャパンウォーキングカップなど4つの認定を取得し、全国的なスポーツ振興に貢献していることも評価。

○作品名：国内唯一 アマチュア向けスポンサードカスタムユニフォーム「Outfitter」で

青少年育成と地域活性化

応募者：イオン・シグナ・スポーツ・ユナイテッド株式会社

・独創的なビジネスモデルとして評価が高い。スポーツに直接関係の無い企業（スポンサー）とスポーツ選手を繋げる取り組みは先進的で新たな関係性を構築し、アマチュアスポーツの費用負担を軽減し、地域スポーツの活性化に貢献している。企業から地域スポーツへの資金の流れを生み、さらには企業へのメリットにつながる好循環をつくる新たな取組である。

○作品名：冬季間の地域住民の健康と地域特性を活かした、新たなツーリズム創出を目指す

ウインターパーク

応募者：くしろウインターパーク実行委員会

・遊休資産を活用し、厳冬期の北海道に人を呼び込むアイデアに脱帽パークのスローガンやパートナーシップも地域住民を上手く巻き込んでおり、試行錯誤を繰り返しながら限られた人員・予算の中で素晴らしい付加価値を創出している。地域課題も的確に捉え、共生社会の実現を目指しつつ地域一丸となってパークを運営している点を評価。

○作品名：ツノスポーツアカデミー

応募者：一般社団法人ツノスポーツコミッション

・地域の活力低下や担い手不足の課題解決を目指したスポーツアカデミーが起点となり、地域創生事例として興味深い。過疎化・少子化に悩む地方都市にとって参考になる取り組みでありよく考えられた内容になっている。地域スポーツコミッションが関与する新しい地域スポーツ振興のモデルとしての発展と、同様の悩みを持つ自治体との相互連携など今後の拡大に期待。

○作品名：金沢市ボディビル・フィットネスオープン大会

応募者：金沢市ボディビル・フィットネス連盟

・市民への普及啓発や初心者向けの講習などがあり、初心者から熟練者まで幅広くボディビルを通じた健康づくりを行うことができる取組。ボディビルフィットネス普及を通じて地域活性化に寄与している。SDG's、ダイバーシティに対応した大会運営、性別、年齢、競技経験や障がいの有無を問わないイベントとして多様性に挑戦している点を評価。



▲受賞者集合写真



▲会場内ブース：受賞団体パネル展示コーナー

5 | SPORTEC 2024（東京）



■SPORTEC 2024

- 日 時:2024年7月16日(火)～18日(木)
- 場 所:東京ビッグサイト 東1～3・6ホール
- 主 催:SPORTEC実行委員会
- 共 催:一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 ほか
- 出展社:523社 ○来場者:37,611名(3日間)

【7月16日(火)】

- ＜原田会長 基調講演＞
- ＜第12回スポーツ振興賞 授賞式＞
- スポーツ振興賞受賞者による発表とディスカッション(会場内ブースにてパネル展示)

【7月16日(火)～18日(木)】

- ＜JSTA 会員紹介パビリオン＞JSTA 会員希望者によるポスター掲示・カタログ展示ブース展開



6 | Japan Sports Week 2024



■Japan Sports Week 2024 ～スポーツチーム・アスリート向け総合展～

- 日 時:2024年7月3日(水)～5日(金)
- 場 所:東京ビッグサイト
- 主 催:RX Japan 株式会社 Japan Sports Week 事務局
- 特別後援:一般社団法人日本トップリーグ連携機構
- 来場者:26,701 名(3 日間)

【7月3日(水)～5日(金)】

＜JSTA ブース＞JSTA 会員希望者によるポスター掲示・カタログ展示ブース展開



7

第13回スポーツツーリズム・コンベンション
In 沖縄

- 日 時: <DAY1> 2025年2月20日(木)14時00分～16時35分
<DAY2> 2025年2月21日(金)10時30分～12時10分
※ファムトリップ〔協力: (一社)沖縄スポーツ関連産業協会〕
12時25分～18時30分
「沖縄県内を巡るプロ野球キャンプ地視察(昼食付)」
- 場 所: 沖縄コンベンションセンター
- 主 催: 一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構
- 協 力: TSO International 株式会社
- 後 援: スポーツ庁／観光庁／
一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー／公益財団法人沖縄県スポーツ協会
- 申込人数: 会場 129 名
- 参加者数: 会場 132 名／ファムトリップ 21 名

展示会同時開催

スポーツ・レジャー設備・サービスがリゾートアイランド沖縄に集結

LSJ レジャー&スポーツジャパン2025
in Okinawa



JSTA
JAPAN SPORT TOURISM ALLIANCE

第13回 スポーツツーリズム コンベンション in 沖縄

2025年2月20日・21日

沖縄コンベンションセンター (宜野湾市真志喜 4-3-1)

主催：一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 (JSTA)

協力：TSO インターナショナル

後援：スポーツ庁・観光庁・(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー・(公財) 沖縄県スポーツ協会



お申込はこちら

<https://sporttourism.or.jp/>

※一部参加費有料

入場無料



JSTA
JAPAN SPORT TOURISM ALLIANCE

2025/2/20-21 沖縄コンベンションセンター 第13回 スポーツツーリズム・コンベンション in 沖縄

2/20

開会式

14:00

【主催者挨拶】(一社)日本スポーツツーリズム推進機構(JSTA)会長/大阪体育大学 学長 原田 宗彦
【来賓挨拶】スポーツ庁 参事官(地域振興担当) 廣田 美香氏(予定)

基調講演「沖縄県のスポーツと観光の未来」

14:20



一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 会長 下地 芳郎氏

1981年沖縄県庁に入庁。初代香港事務所長として、香港を中心にアジア全般の観光客誘致などを担う。立教大学大学院ビジネスデザイン研究科博士課程前期課程修了(経営管理学修士)。観光振興課長、観光企画課長、観光政策統括監などを歴任。2013年3月に退職し、琉球大学観光産業科学部教授に就任。学部長、研究科長を歴任。2019年6月より現職。(沖縄ツーリズム産業団体協議会会長等)

15:00
終了予定

シンポジウム「沖縄県のスポーツツーリズム産業の拡大に向けて」

15:15



スポーツデータバンク沖縄株式会社 代表取締役 石塚 大輔氏

2003年スポーツデータバンク(株)創業メンバーとして参画。2015年台湾現地法人・台湾恩邦勤有限公司設立、2016年スポーツデータバンク沖縄株式会社設立。国内外においてスポーツ事業領域における地域課題解決型事業の専門家として従事。現在は、学校部活動の地域移行を契機とした新たな地域スポーツの環境整備にかかる事業設計、多産業との連携によるスポーツを通じたまちづくりの戦略策定を展開。



株式会社やまぐすくコンサルティング 代表取締役 山城 あゆみ氏

経営・マーケティングコンサルタント。東京・大阪で活動の後2004年沖縄へ移住。大手製造業、コンサルティングファーム、公的支援機関等での知見を活かし、県内企業の経営力強化、商品開発、マーケティング、ブランディングに携わる。対象分野は製造(食品・化粧品・工芸品)、サービス(観光・飲食)、地域資源活用、食農連携等。中企庁や沖縄県等の公的機関のアドバイザーを兼務。



沖縄県 文化観光スポーツ部スポーツ振興課 スポーツ企画班長 宮平 洋志氏

沖縄県与那原町出身。2004年沖縄県庁事務課に採用後、県立病院、広報・秘書業務、商工、農林水産行政を経て、2022年4月より、スポーツ振興課に配属。スポーツを契機とした沖縄への観光誘客、スポーツ関連産業の業務に従事。その後FIBAバスケットボールワールドカップ2023開催地支援協議会での業務を経て、2024年4月より現職。

16:35
終了予定

モデレーター：(一社)日本スポーツツーリズム推進機構 会長/大阪体育大学 学長 原田 宗彦

2/21

フォーラム1「『スポーツ×〇〇』で新たな価値をもたらすスポーツツーリズム開発」

10:30

●令和6年度「スポーツアイランド沖縄」形成に向けた付加価値構築支援事業

採択事業者：(株)ジークラフト 代表取締役社長 本村氏/西池氏「社員旅行ならビーチ de 運動会」

●沖縄県 文化観光スポーツ部スポーツ振興課 担当者(調整中)



モデレーター：

一般社団法人 沖縄スポーツ関連産業協会(ワンスポ沖縄) 代表理事 青田 美奈氏

愛知県生まれ。上智大学外国語学部卒業後NTTコミュニケーションズのグローバル営業を経て、スケールにてサッカー、オリパラ等の業務に従事。2017年に来沖後は、内閣府管轄の組織及びレジスタにて県内のスポーツ産業化に取り組む。2022年より現職。

11:15
終了予定

フォーラム2「プロスポーツキャンプ最前線」

11:25



沖縄 JTB 株式会社

営業部 地域交流事業 多和田 里美氏
沖縄 JTB(株)入社後、仕入販売部に所属し、エース JTB 商品のパンフレット制作に携わる。2020年現在の部署へ配属、東京2020オリンピック・パラリンピックの受入対応に従事。現在は、沖縄県「プロ野球キャンプ等訪問観光促進事業」を担当。



面白法人カヤック

FC琉球サッカーキャンプ事業部長 内藤 慶氏

1991年神奈川生まれ。大学卒業後にプロダクション人力舎でお笑い芸人『しんぶる内藤』として約6年活動。引退後、東京のベンチャー企業でSNSマーケティングコンサルタントとして従事。マレーシア移住経験後、2024年面白法人カヤック入社と同時にグループ企業のFC琉球 OKINAWA プロジェクトに参画するため沖縄に移住。



モデレーター：株式会社 JTB コミュニケーションデザイン 事業共創部 プロデュース局エグゼクティブプロデューサー 川杉 章(JSTAセミナー委員)

1998年入社。大宮支店をるるぶ等広告営業担当からキャリアをスタート。その後、社内新規事業スタートアップ、シンクタンクの設置、プランナーを経て地域振興、スポーツツーリズム、地域ブランディングを実施。現在はプロデューサーとして事業創出や地域連携などを担務。

12:10
終了予定



ランチ&ファミトリップ「沖縄県内を巡るプロ野球キャンプ地視察」 別途有料・先着順受付

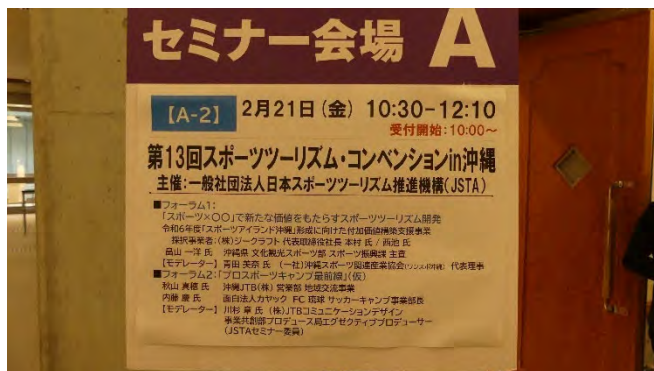


プロ野球キャンプの受入れで行われている取組について、阪神タイガース2軍キャンプ地のうるま市へバスで向かい、市から受託した事業者へ直接お話を伺いながら現地の様子を視察します。

参加費(税込)：ランチのみ3,000円|FAM①宜野湾解散5,500円(ランチ付)|FAM②那覇空港解散6,600円(ランチ付)
ランチ会場：ラグナガーデンホテル|定員：35名程度|協力：一般社団法人沖縄スポーツ関連産業協会(ワンスポ沖縄)

記録写真

【受付】



【展示会エリア 会場内ブース出展】



記録写真

2月20日



記録写真

2月21日



記録写真

2月21日 «ファムトリップ»

「沖縄県内を巡るプロ野球キャンプ地視察」 協力：一般社団法人沖縄スポーツ関連産業協会

【移動バス】



解説：岩満氏／（一社）沖縄スポーツ関連産業協会

【阪神タイガース2軍キャンプ地「具志川野球場」視察】



【うるま市役所 見学】



【うるま市 石川エリア スタンプラリー施策 視察】





学校法人大阪観光大学主催 第4回関西国際空港を軸とした地域振興・観光振興研究懇談会
「スポーツ×観光の可能性ーポスト万博の都市戦略」

大阪観光大学では、関西国際空港開港30周年に鑑み、同空港を基軸とする地域振興・観光振興について、多くの関係者と研究と懇談を重ねてきました。今回は、大阪体育大学の協力をえて、ポスト万博に向けた大阪の都市戦略を、スポーツ×観光（スポーツツーリズム）の視点から考えたいと思います。

具体的には、スポーツツーリズムの司令塔としてのスポーツコミッション大阪（仮称）の設立についての議論を深めることができると考えます。

日時：2024年10月26日（土）13:30～16:30

会場：アーバンネット御堂筋ホール

主催：大阪観光大学

共催：大阪体育大学、JSTA

後援：スポーツ庁、国土交通省近畿運輸局、大阪府、大阪市

【プログラム】

13:00 受付

13:30

開会挨拶：山本健慈氏（大阪観光大学理事長）

来賓挨拶：廣田美香氏（スポーツ庁地域振興担当参事官）

基調講演「スポーツツーリズムの課題と展望：ポスト万博のスポーツ都市戦略」

原田宗彦（大阪体育大学学長／JSTA 代表理事）

報告：田邊真氏（関西エアポート(株)渉外本部地域連携部長）

～休憩～

シンポジウム「スポーツツーリズムの振興とまちづくり」

ファシリテーター：河村悟郎氏（大阪観光大学観光学部講師）

シンポジスト：

宮島武志氏（(株)セレッソ大阪副社長）

藤原直幸（JSTA 地域スポーツ戦略ディレクター）

尾崎徹也氏（ミズノ(株)執行役員）

原田宗彦

16:20 閉会挨拶：山田良治（大阪観光大学学長）

16:30 閉会

9

スポーツによる地域活動支援ネットワークプロジェクト



本企画は、JSTA の公益自主事業として会員の皆様と協働する社会貢献活動として計画しています。この活動は、今年度を皮切りに次年度以降も時勢に沿った様々な形で継続的な実施を想定しており、2024 年度は「金沢文化スポーツコミッション」が支援する『スポーツのちからプロジェクト』に賛同し、能登半島地震で被災し、スポーツ活動が困難な子どもたちのスポーツ合宿支援を実施しました。

【実施概要】

全 3 回実施

協力：金沢文化スポーツコミッション・スポーツのちからプロジェクト

<1>2024 年 8 月 14 日（水）～18 日（日）

スポーツコミッション大館 『小林快』競歩講習合宿」輪島市・七尾市高校生選手 2 名招待

- ・ SC 大館が国の補助金で実施する合宿イベントに七尾市から 1 名、輪島市から 1 名、計 2 名参加
- ・ 合宿参加費は金沢が全額補助、交通費は JSTA が全額補助 ※参加者は負担金 0 円
- ・ 招待選手のうち 1 名は、合宿後、北信越大会新人戦で優勝！



<2>2024 年 11 月 2 日（土）～4 日（月祝）

新潟市文化・スポーツコミッション「頑張れ石川県!がんばれ能登島!小学生バレーボール交流会」
小学生女子バレーチーム「能登島ジュニア」選手 10 名・コーチ監督 4 名・関係者 9 名招待

- ・ 新潟市文化 SC が教育委員会に相談し、地域で毎年開催している交流会に越境参加
- ・ 宿泊費は金沢が全額補助、交通費は JSTA が全額補助、昼食アクティビティは新潟市が全額補助
※参加者は負担金 0 円
- ・ 新潟参加チームが有志で募金活動を行い、能登島チームに集めた募金を寄付したほか、寄せ書きボールをプレゼント



<3>2025 年 1 月 10 日（金）～13 日（月祝）

佐賀県スポーツコミッション

SAGA アクア練習会／「第 51 回（2024 年度）JSCA 新年フェスティバル水泳競技大会 佐賀県会場」
スポーツギャザー770（七尾市）スイミングクラブ選手 7 名・コーチ 1 名招待

・日本スイミングクラブ協会が各地域で毎年開催している大会、本来は所屬地域での参加だが特別に
越境参加 OK に

- ・佐賀県、金沢、JSTA で費用割合負担（4.5：4.5：1） ※参加者は負担金 0 円
- ・佐賀県スポーツコミッションチームと共に七尾市の被災現地を視察
- ・佐賀県より佐賀牛、いちごの激励品贈呈（夕食で特別メニュー提供）バルーン係留乗車体験



スポーツ庁は、地域SCの共通の課題である「質的な向上」、具体的には「経営の安定」と「運営の基盤人材の育成・確保」の2点について第3期スポーツ基本計画に基づき、取組を推進していくため、地域SCの運営の基盤人材の育成・確保に関する委託事業を公募した。

2月9日に開始した公募にJSTAは応札し、3月14日に受託候補者に決定した旨の連絡を受けた。

1. 担当部局

スポーツ庁 参事官（地域振興担当）付地域振興係

2. 業務名

地域スポーツコミッション基盤人材育成サポート事業

3. 委託期間

2024年4月1日（月）から2025年3月31日（月）まで

4. 業務内容

①事業内容等

スポーツによるまちづくり・地域活性化の継続的な推進及び地域スポーツにおける基盤人材の育成・確保のため、地域スポーツコミッション（以下、地域SC）に関する下記の4つの取組を実施した。

1. 地方SCの経営多角化及び地域SCへの新規設立に向けた総合コンサルティング

スポーツ庁補助事業（スポーツによる地域活性化・まちづくり担い手育成総合支援事業）に採択された地方公共団体・地域SC（新規設立支援2／経営多角化13）に対する総合コンサルティングを実施。

2. 地域SCポータルサイトの管理・運営

活動内容や組織形態が多岐にわたる地域SCの設置状況等について全国的に把握する調査及び海外のスポーツコミッションの事例を収集するとともに、これらの情報等を地域SCの情報一元化を目的に作成された地域SCポータルサイトを管理及び新規コンテンツの追加などの運営を実施。

3. 地域SCに関わる人材育成・確保とネットワーク化の促進

地方SCが現場で感じる活動上の課題として多く見受けられる「人材の不足」について、地域SCが地域から期待される役割を果たし、将来にわたって安定した組織へと発展していくため、運営の基盤となる人材の育成、確保における実証事業を実施。合わせて、地域SC同士のネットワークを促進するための取組を実施。

4. シンポジウム等の開催による対外的な発信

有識者による講演や、今年度実証事業を実施した地域SCの取組内容等の情報を広く発信するためのシンポジウムを開催。

5. 実施体制

JSTA で実施

②事業の実施方法等

地方 SC の経営多角化及び地域 SC の新規設立に向けた総合コンサルティング

【事業概要】

スポーツ庁は 2024 年度補助事業「スポーツによる地域活性化・まちづくり担い手育成総合支援事業」の中で「地域スポーツコミッション新規設立支援事業」「地域スポーツコミッション経営多角化支援事業」を実施しており、新規設立支援に採択された 2 自治体、経営多角化支援に採択された 13SC に対して総合的なコンサルティングを行った。

設立支援の採択自治体

自治体名	人口（人）	団体名（設立時）
長野県野沢温泉村	3,603 (2025. 2. 28)	野沢温泉スポーツコミッション
静岡県下田市	19,184 (2025. 3. 1)	下田市スポーツコミッション

経営多角化支援の採択コミッション

自治体名	人口（人）	団体名
茨城県笠間市	30,149 (2025. 3. 1)	一般社団法人笠間スポーツコミッション
栃木県	1,877,867 (2025. 2. 1)	栃木県スポーツコミッション
栃木県那須塩原市	113,381 (2025. 3. 1)	那須塩原スポーツコミッション
埼玉県久喜市	150,787 (2025. 3. 1)	久喜スポーツコミッション
石川県金沢市	454,576 (2025. 3. 1)	金沢文化スポーツコミッション
山梨県韮崎市	27,703 (2025. 3. 1)	韮崎市スポーツコミッション
愛知県西尾市	169,362 (2025. 3. 1)	西尾市観光・スポーツ・文化共創協議会
広島県北広島町	16,882 (2025. 2. 28)	一般財団法人どんぐり財団
佐賀県武雄市	46,860 (2025. 3. 1)	SAGA 武雄温泉スポーツコミッション
鹿児島県大崎町	11,884 (2025. 3. 1)	スポーツ観光おおさき
沖縄県	1,467,901 (2025. 2. 1)	スポーツコミッション沖縄
沖縄県沖縄市	141,624 (2025. 3. 1)	沖縄市スポーツコミッション
沖縄県石垣市	49,746 (2025. 2. 28)	石垣島スポーツコミッション

7. 成果物（スポーツ庁ホームページ掲載／公開予定）

地域スポーツコミッションデータベース

<https://sportscommissiondata.com/db/>

地域スポーツコミッションポータル

<https://sportscommissiondata.com/>

JSTA の広報事業の一環として、全国の地域スポーツコミッション、自治体、スポーツツーリズムの関連団体からアンケート回答のあった各種サポート制度の情報を一覧化したチラシを展示会のブースや JSTA のウェブサイトにて配布並びに公開した。



●地域スポーツコミッションとは

観戦や合宿など、スポーツを通じて地域への訪問者を増やしたり、住民によるボランティアなど、スポーツを通じた活動を行うことで、地域に交流が生まれ、活性化に繋がる「スポーツツーリズム」を推進する、地域の旗振り役となる組織です。スポーツ庁の調査によると、登録要件を満たした地域スポーツコミッションは、全国で 204 団体あります。(2023 年 10 月現在)

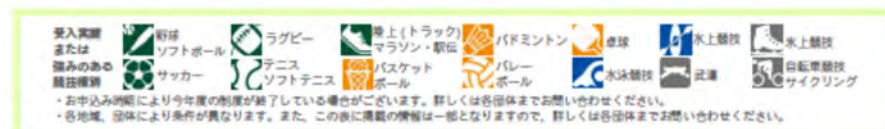
●どんなことができるの？

各スポーツコミッションにより取組みは異なりますが、合宿や大会などを行う際の宿泊・会場・地域内の移動交通・食事・対戦相手などの手配や対応を一元的に行ったり、補助金の支給など、スポーツを目的に地域を訪れる人を支援をしています。

●JSTA と地域スポーツコミッションはどんな関係？

JSTA では、2020 年度よりスポーツ庁と連携し、地域スポーツコミッションの新規設立や経営の多角化を目指すスポーツコミッションの支援事業や調査等を行っています。

このお知らせは、JSTA の広報事業の一環として、全国の地域スポーツコミッション、自治体、スポーツツーリズムの関連団体から回答のあった各種サポート制度の情報を一覧化したものです。



画像提供：秋田県大館市（陸上競技・バレーボール）／ 静岡県沼津市（フェンシング）／ 山口県長門市（ラグビー）

一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）

〒101-0021 東京都千代田区外神田 1-1-13 万世橋出張所・区民館 5 階 CTIB502 | <https://sporttourism.or.jp/>

●各地のサポート制度一覧

[illegible]

・お申込み時期により今年度の制度が終了している場合がございます。詳しくは各団体までお問い合わせください。

●各地のサポート制度一覧

[illegible][illegible]

 野球
ソフトボール
サッカー
 ラグビー
テニス
ソフトテニス
 陸上(トラック)
マラソン・駅伝
バスケット
ボール
 バドミントン
バレー
ボール
 卓球
水泳競技
武道
 水上競技
 自転車競技
サイクリング

※お申込み時期により今年度の制度で実施している場合があります。詳しくは各団体までお問い合わせください。
 ※地域、団体により条件が異なります。また、この表に掲載の情報は一部となりますので、詳しくは各団体までお問い合わせください。

12 | APEC SPORTS POLICY NETWORK



APEC SPORTS POLICY NETWORK (ASPNT)

Roundtable Meeting & Forum 報告

06 FEB.2025 @Vlag Yokohama



・JSTAと連携している中華民国教育部体育署（スポーツ庁）はIAPS(Center of Industry Accelerator and Patent Strategy of National Yang Ming Chiao Tung Univ. 国立陽明交通大学)と共に2016年以来ASPNT事務局を運営しており、APEC Human Resources Development Working Groupの傘下で活動をしている。APEC加盟国が参加するASPNT Roundtable Meeting（年次総会）は過去2回（2018・2023）東京で開催されており、今回は横浜開催となった。

・午前のRoundtable Meetingでは各国のトピックスのプレゼンと参加国間で意見交換を行った。
・午後は、スポーツ関係者も加えてASPNT Forumを開催し、国際スポーツ大会のプレゼンやスポーツテックの事例共有を行った。

JSTAからの参加：中山 哲郎
瀧山 朗子



Roundtable Meeting参加国：中華民国、シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、オーストラリア、イギリス（IAEH）、日本 ※IAEH（International Association of Event Hosts:国際スポーツ開催都市連合）

APEC Sports Policy Network

The APEC Sports Policy Network (ASPNT) was launched by Chinese Taipei in September 2016, under the APEC Human Resources Development Working Group (HRDWG). ASPNT aims to provide a platform for APEC member economies to exchange views and work together to drive sports-related economic and social development.

Annual Workplan

- Roundtable Meeting
- Newsletter Sharing
- Industry-Government Collaboration

Economy	Sports related authorities / organizations
Australia	Australian Sports Commission / Youth Australia / OZ Sports
Canada	Department of Canadian Heritage / Sport Canada
Chile	The Ministry of Sports
Indonesia	Ministry of Health and Sports
Japan	Japan Sport Council / Japan Sport and Tourism Alliance (JSTA)
Korea	Korea Sports Promotion Foundation (KSPF)
Malaysia	Ministry of Youth and Sports
Philippines	Philippine Sports Commission
Singapore	Sport Singapore
Chinese Taipei	Sports Administration, Ministry of Education / IAPS
Thailand	Sports Authority of Thailand / Thailand Convention and Exhibition Bureau
Vietnam	Sports Authority of Vietnam

Contact: aspnt@jsta.go.jp APEC Sports Policy Network Secretariat

2025年ASPNTフォーラムは、日本・横浜で盛大に開催されます。19年を超えるAPECエコノミーのスポーツ公式代表、スポーツイベント開催国は、そしてスポーツイノベーションチームが一堂に会し、スポーツ分野における最新のグローバルトレンドを議論するとともに、スポーツテクノロジーの革新や成果が展示されます。

APEC スポーツ政策ネットワーク (APEC Sports Policy Network, ASPN) は、APEC 人材開発作業部会 (Human Resources Development Working Group, HRDWG) の下で、2016 年 9 月にチャイニーズ・タイペイによって立ち上げられました。APEC 各エコノミーのスポーツ関連部門、国際スポーツ組織、国内外の学者や専門家などの代表を擁護し、政策対話や事例共有を行います。この8年間で、日本、ベトナム、フィリピンを含む国内外で10回の大型国際会議が開催され、APECの各経済体から高い評価を受けています。

今回のフォーラムでは、ASPNTに加盟エコノミー代表に加え、世界各地から約10組のスポーツテクノロジーイノベーションチーム、日本スポーツウエアズ産業連合 (JSTA)、2026年名古屋アジア大会や2027年関西ワールドマスターズゲームズなどのスポーツイベント関係者が参加し、ブース展示や交流が行われます。これにより、多岐の能力を通じてスポーツテクノロジー産業チェーンの発展を強化し、地域内の政策合意を深めていきます。

ASPNTフォーラムでの議論と交流は、アジア太平洋地域におけるスポーツテクノロジー人材の国際的な流動と協力を促進し、より堅固なスポーツテクノロジーイノベーションエコシステムの構築に貢献します。

今回のASPNTフォーラムの開催は、アジア太平洋地域におけるスポーツテクノロジーのイノベーション分野での発展を推進する上で重要な意義を持ち、より緊密な協力関係を築き、スポーツテクノロジーの未来に新たな可能性と成長の原動力をもたらします。



2025 ASPN Forum
February 6, 2025

13:30-13:45 Opening

13:45-14:35 Panel I:
Sports Innovation X Major Event

14:35-15:05 Sports Tech Startups Demo I

15:05-15:20 Keynote:
Impact on Major Events: IAEH

15:20-16:10 Panel II:
Sports Innovation X A Healthier Society

16:10-16:35 Sports Tech Startups Demo II

16:35-17:00 Find your favorite startups
- Booth Tour

17:00-17:30 Networking

@VTag Yokohama 42F

ASPNT FORUM参加組織・企業

参加者：スピーカー25名 (13ヶ国)
約100名のスポーツ関連一般参加者 (日本・近隣諸国含む)
愛知名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会及びワールドマスターズゲームス関西大会組織委員会のブース出展とスポーツ関係者の参加者公募についてはJSTAが声掛けを行った




ASPNT Sports Tech Accelerator
Empowering Asia-Pacific Sports Tech Startups

ASPNT Program supported by the Sports Administration, Ministry of Education, Taiwan, and assisted by IAPS Center of Innovation Accelerator and Talent Strategy. ASPNT Center now extends to establishing and expanding the sports innovation ecosystem across the Asia-Pacific region. Collaborating with government departments in ASPNT, ASPNT Sports Tech Hub's 1 member countries, we aim to identify, connect, sports technology resources throughout the Asia-Pacific region, unite sports technology accelerators, and craft a robust Sports Technology Asia Hub.

HIGHLIGHT

117 STARTUPS
25 DIFFERENT COUNTRIES
33M USD INVESTMENT

• MICROFF BOOTCAMP • DEATHLON
• TRISPO • GSIC
• INNOVEX • FOXCONN
• BEND DAY • NVIDIA
f IAPS.NYCU
ASPNT Sports Tech Accelerator
LITERARY PLUG&PLAY
TIAE

Contact: aspnt@aspnt.org ASPNT Sports Tech Accelerator

ASPEN Forum
2025/2/06

Sports Innovation Panel I- ASPN x Major Event

- Moderator: Dr. Hank
- Dr. Nittaya, Director, Sports Authority of Thailand
- Mr. Nakayama Tetsuo, Director General, JSTA**
- Mr. Takahashi Toru, Deputy Director, WMG

「Tokyo2020がもたらす地方都市へのインパクト」
～ホストタウンレガシー～ のテーマで講演




Asia-Pacific
Economic Cooperation

ASPEN FORUM2025

Sports Innovation X Sports Events

*The Impact of Tokyo2020 on Local Cities
~The Legacy of Host Town Initiative~*

NAKAYAMA Tetsuo
Director General
JAPAN SPORT TOURISM ALLIANCE
06 FEB. 2025

JAPAN SPORT TOURISM ALLIANCE [JSTA]



- ★National Platform for Regional Sports Commissions
- Regional Revitalization through Sports
- Consulting
- Networking
- Human Resources Development
- Sharing the knowledge and successful practices

★International Relations



THE HOST TOWN INITIATIVE

Copyright: Cabinet Secretariat

Local towns in Japan welcome athletes from all over the world who are taking part in the Tokyo Games. Those "Host Towns" will build warm friendship with participating countries through grassroots exchanges.

533 Host Towns
185 Counterpart Countries / Regions

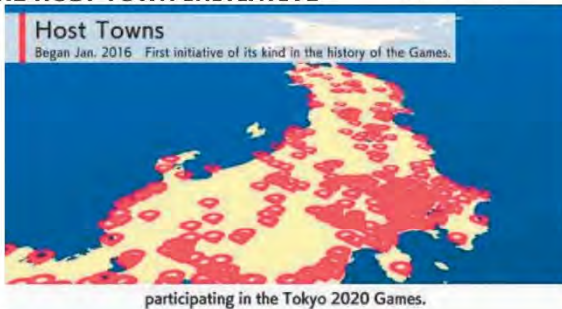


	Visit	#Hosttowns	#Counterpart Countries / Regions	#Athletes & Coaches
Olympic	Pre-Camp	183	79	6,349
	Post-Games	22	16	191
Paralympic	Pre-Camp	57	39	1,627
	Post-Games	13	6	33

As of Aug 30, 2021

THE HOST TOWN INITIATIVE

Copyright: Japan Sport Council



HOST TOWN Legacy in ODATE City, AKITA Pref.

- 2016 The 1st Registration as **Host Town of Thailand**
- 2018 **Basic Agreement** signed with Cerebral Palsy Association of Thailand, Akita Pref., Odate City for Pre-Training Camp before Tokyo2020 Paralympic Games
- Thailand Boccia National Team inspection of Sports facilities and Hotel etc. and Boccia Exhibition Match with Japan National Team and Experience Session for Odate city beginners.
- 2020 "HACHI's Open HACHIKO CUP" 1st Edition in Commemoration Thailand Boccia Team Host Town
- 2021 Tokyo2020 Paralympic Games held, but Pre-Training Camp Cancelled due to COVID-1.
- 2022-2024 2nd-4th "HACHI's Open HACHIKO CUP" Thailand/Japan National Team joined for exchange Program with local Japanese teams including other cities like Shibuya.
- 2025 **Chinese Taipei Boccia Team** Invited for the 1st time.
- 50 Teams (200 local players) gathered with JPN/THAI/CTPE teams.



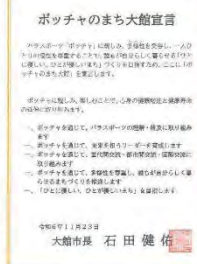
HOST TOWN Legacy in ODATE City, AKITA Pref.



Boccia has become a keyword for ODATE City Design

"The Declaration of Boccia City, ODATE"

1. Promote physical and mental health and extend healthy life expectancy through familiarity and enjoyment of Boccia
2. Promote the understanding and popularization of para-sports through Boccia
3. Nurture future leaders through Boccia
4. Promote intergenerational, intercity, and international exchange through Boccia
5. Through Boccia, we will promote the development of a city where Diversity is respected and everyone can live as they wish
6. Aim to be a "People-Friendly and People-Friendly city".



13 | 2025 Sport Event Taiwan



①2025Sport Event Taiwan(SET)Workshop Launch Forum ②APEC Sports Policy Network(ASPNT) Sports Tech Accelerator Kickoff Bootcamp 出張報告

- ①3/27 Taipei Exhibition Center, Hall2
台北南港展覽館
- ②3/28 Taiwan Tech Arena

2025/3/26～3/29
出張者：原田 宗彦・中山 哲郎



①2025Sport Event Taiwan(SET)Workshop Launch Forum

主催：中華民国教育部体育署（スポーツ庁）
中華民国全国中小企業總會
IAPS(Center of Industry Accelerator and Patent Strategy)



JSTAとの関係：2021年3月にMOU調印。教育部体育部署はIAEHのメンバー。
日本のスポーツイベントやスポーツサービスを台湾のスポーツ関係者に紹介するワークショップが
2月～11月にかけて台北で開催され、日本から登壇者を毎年2-3名派遣している。
JSTA以外にもMOUを調印しており、その他イベント主催者、スポーツテクノロジー関係者も多く参加し
国際的なネットワークを構築するのに役立っている。

2025年MOU調印組織：Fun Sports in Taiwan/Asian Association for Sport Management

APEC Sports Policy Network/**Japan Sport Tourism Alliance**
Thai Mass Participation Sports Trade Association





①2025Sport Event Taiwan(SET)Workshop Launch Forum

【過去登壇者実績】

年度	登壇者
2021年度 オンライン	JSTA原田会長（スポーツツーリズムによる地域活性化）
2022年度 オンライン	年間テーマ：of “Branding, Innovation and Networking”, 大阪体育大学（武道ツーリズム）、JTB（スポーツホスピタリティ） 野沢温泉観光協会（中華台北スキー連盟との交流、中華台北アルペンスキー選手育成） ※野沢温泉はコロナ禍明けの10月開催のため、リアル参加
2023年度 オンライン	年間テーマ：Young & Green Innovation x International together セプテニールプチャーズ（ダンスプロリーグDリーグ） 北海道鶴雅リゾート（アドベンチャーツーリズム）
2024年度 リアル参加	年間テーマ：International Sport Event X City Branding さいたまスポーツコミッション（サイクルツーリズム） さっぽろグローバルスポーツコミッション（Winter Sports City）
2025年度（予定） リアル参加募集中	年間テーマ：City Branding X Sports Tech さいたまスポーツコミッション 土佐町スポーツコミッション



①2025Sport Event Taiwan(SET)Workshop Launch Forum

【Program】

TIME	AGENDA	SPEAKER
14:00-14:10	Opening	
14:10-14:20	Launch Ceremony	
14:20-14:30	Introduction of 2025 SET Workshop	Tim LIN, Director, Fun Sports in Taiwan
14:20-14:40	MOU Signing Ceremony	Fun Sports in Taiwan/APEC Sport Policy Network Asian Association for Sport Management/JSTA Thai Mass Participation Sports Trade Association
14:40-15:00	[KEYNOTE I] Sports Diplomacy	Po Chun Sophiyah LIU, Ambassador-at-Large R.O.C
15:00-15:20	[KEYNOTE II] The Branding of 2025WMG	Chu Hung LIN, CEO,2025 WMG Committee
15:20-16:00	[Panel I] Sports Events X City Branding	Moderator:AASM Panelists:IGNIX(MYS)/TMPSA(THA) /JSTA(JPN)
16:00-16:20	[KEYNOTE III] One Hundred Group	Joao de Saldanha（GBR+PORトレイルランイベント主催者）
16:20-17:00	[Panel II] Sports Events X Sports Tech	Moderator:ASPN Panelists:Blackstorm Consulting(SIN+KOR) ABSG(SUI)/ASTN(AUS)
17:00-17:15	ASPN DEMO SHOW	AlGym/AQUIVIO/CREST



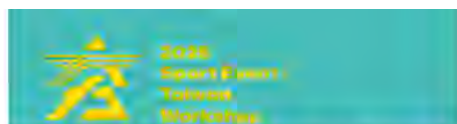


②ASP Sports Tech Accelerator Kickoff Bootcamp

【スタートアップ企業選定Program】

TIME	AGENDA	SPEAKER
10:00-10:15	Opening Remarks	教育部体育部署、IAPS、NYCU
10:15-10:30	Introduction of Judges	原田会長・中山事務局長含む
10:30-12:00	Pitch Competition: Group A=7 Teams	応募期間：2024/12/02～2025/2/20 応募数：50チーム（14ヶ国） 選定されたTeam:14チーム（台湾7/国際7） ※上記14チームは今後教育部体育署・IAPS・ASP Sports Tech Acceleratorより、国際的パートナーとの協力・プロダクトの検証・ビジネスマッチング等の支援を受ける。
12:00-13:00	Lunch Break	
13:00-13:15	Opening	
13:15-14:30	Pitch Competition: Group B=8 Teams	
14:30-14:40	Break	Peggy Tng, GSIC (SIN) powered by Microsoft
14:40-16:10	Pitch Competition: Group C=7 Teams	
16:10-16:30	[KEYNOTE] Innovation Transforming APAC Sports Industry	Jestin Bay, BlackStorm Consulting (SIN)
16:30-16:40	[KEYNOTE] The Future of SportsTech in Southeast Asia	
16:40-16:50	Announcement	原田会長/JSTA
16:50-16:55	Closing Remark	
16:55-17:30	Networking	

【今後の取組】



①SET Workshop

- ワークショップに登壇するためには英語でのプレゼン・クロストークが必須であるので、自治体及びスポーツコミッション（SC）の国際化のための人材確保・育成が必要である。
- 台湾からの訪日外客数は約600万人（2024年1-12月）に上り、リピーターが多いのが特徴なので、地域への誘客のためのスポーツ・アクティビティのプログラム化が必要である。SET Workshopは台湾側のスポーツ関係者をつなげる良い機会なので、自治体・地域SC・スポーツ関連企業にぜひ活用いただきたい。
- 台湾からの誘客のため航空路線の誘致を計画し、知事・市長自ら台湾に直接セールスされている自治体が多いが、同時に上記で述べたプログラム化等受入体制整備を伴うことが重要である。
- 中華民国教育部体育署は2025年8月に「スポーツ省」に格上げされる予定であるので、スタッフ陣容・予算も含めて強化される。スポーツによる国際関係強化は外交関係が縮小している中華民国にとって重要な政策として位置づけられている。

②ASP Sports Tech Accelerator

- IT先進国である台湾で開催されるコンテストに各国・地域（USA/スイス/香港/インド/マレーシア等）のスタートアップ企業が参集してくる構図をみると、英語のハンディはあるがこの分野の日本企業の国際市場へのチャレンジ精神が低いことを痛感せざるを得ない。一方、台湾自体の市場は小さいので、日本市場に進出した意欲は旺盛なものの、パートナー企業探しに苦労しているようである。上記①のイベントはTaiSPO（台湾スポーツ&フィットネス用品見本市）会場で開催されSPORTEC（東京）もブース出展をしていた。ASP Sports Tech AcceleratorとSPORTEC事務局の間で出展交渉が進行しており、日本企業へつなぐ役割が求められる。
- ASP Sports Tech Acceleratorは年次総会を毎年APEC加盟国で開催しており、日本で2018@芝/2023@原宿/2025@横浜で開催実績がある。首都圏以外での開催を勧めたい。

14 | ヘルスツーリズム認証



スポーツ/アクティビティはヘルスツーリズム・プログラムの重要な構成要素であるとして、JSTA は 2018 年より、「ヘルスツーリズム認証」を交付するヘルスツーリズム認証委員会を運営メンバーに参画している。

＜ヘルスツーリズム認証委員会共同運営組織＞

特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構

一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構



○ヘルスツーリズム認証とは



- ・旅の楽しみに健康へのケアをプラス。ヘルスツーリズム認証は、[旅と健康]という新しい視点から観光商品を客観的に評価する第三者認証サービス。
- ・ヘルスケアサービスの品質を「見える化」。
- ・品質保証が、消費者にもプログラム提供者にもメリットをもたらす。
- ・認証マークで旅の楽しみに付加価値をプラスする。

※初回認証から 3 年間有効(更新後は 2 年間有効)。

認証取得後、1 年ごとに認証体制が維持されていることを確認するためにサーベランス審査を行う。

また、認証の更新可否を判断するため初回認証取得から 3 年後に更新審査を行う。

ヘルスツーリズム認証 プログラム一覧 (2025 年 4 月末)

都道府県	市町村	プログラム名	事業所名
北海道	豊富町	北海道 TOYOTOMI サロベツサイクル&最北の温泉郷 ヘルスツーリズムプログラム	一般社団法人豊富町観光協会
青森	青森市	あおもりベイトラソウォーク&ヨガ	株式会社ブルーモリス
	青森市	OWANI 阿闍羅の修験道スノーハイクと温浴体験	株式会社ブルーモリス
	五所川原市	DAZAI健康トレイル 青森びばの神木コース	一般社団法人かなぎ元気村
秋田	三種町	秋田犬と散歩(健康ウォーキング)	一般社団法人ヘルスデザイン秋田
	三種町	じゅんさい摘み採り体験	一般社団法人ヘルスデザイン秋田
山形	上山市	クアオルト健康ウォーキング(空色・暮色ウォーキング)	一般社団法人上山市観光物産協会
	上山市	クアオルトバランス膳・早朝ウォーキング	有限会社彩花亭時代屋
	上山市	クアオルトこんにやく会席箱膳	株式会社丹野こんにやく
	上山市	クアオルトかみのやま会席	株式会社月岡ホテル
福島	棚倉町	ヘルスコンシャスプラン	株式会社ルネサンス棚倉
群馬	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム「一ノ倉沢ハイキング」	一般社団法人みなかみ町体験旅行
	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム「スノーシューハイキング」	一般社団法人みなかみ町体験旅行
	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム「ノルディックウォーク たくみの里コース」	一般社団法人みなかみ町体験旅行

都道府県	市町村	プログラム名	事業所名
群馬	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム「ノルディックウォーク 湯宿温泉コース」	一般社団法人みなかみ町体験旅行
	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム「ノルディックウォーク 谷川岳・一の倉沢コース」	一般社団法人みなかみ町体験旅行
	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム「リバーラフティング」	一般社団法人みなかみ町体験旅行
千葉	南房総市	癒しの森のセラピーウォーキング	一般社団法人南房総市観光協会
神奈川	横浜市	ウォーク・ア・マイル(飛鳥Ⅱ 船上プログラム)	郵船クルーズ株式会社
	小田原市	小田原合戦ヘルスツーリズム(一夜城潜入コース/小田原城総構攻略コース)	一般社団法人小田原市観光協会
新潟	妙高市	妙高型健康保養地プログラム	一般社団法人妙高ツーリズムマネジメント
	佐渡市	太鼓体験で楽しく健康づくり	一般社団法人 佐渡観光交流機構
富山	富山市	とやま健泊@立山山麓	株式会社アピアスポーツクラブ
石川	小松市	楽しく歩ける”生涯スポーツゴルフ”と”心と体の食”再発見の旅	北國リゾート開発株式会社
	小松市	木場潟周回歩行を活動量計で計測、「楽しく体得する真の健康ウォーキング」	有限会社喜多八
長野	飯山市	なべくら高原 森林セラピー散策	一般社団法人信州いいやま観光局
	茅野市	健康いきいき診断プログラム 体力年齢アップ健康運動コース	株式会社池の平ホテル&リゾート
	木曽町	木曽開田高原健康ウォーキング	一般社団法人木曽おんたけ健康ラボ
	木曽町	森のセラピー	一般社団法人おんたけウェルネスラボ
静岡	伊東市	初めての方限定「ファステイング(断食)体験プラン」	アイウェルネス株式会社
三重	明和町	ココロとカラダを整える「大淀海岸タラソセラピーウォーク」	一般社団法人明和観光商会
	熊野市	不老不死伝説の旅 三重県熊野市	熊野の宿 海ひかり (株式会社河上)
京都	京丹後市	Kyoto Health Resort 京丹後 百寿健康ウォーキング	一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社
	京丹後市	森林公園で寿ぐ葉っぱづくりのリトリート Green and leafy wellness retreat	京丹後森林公園スイス村(株式会社エーゲル)
	京丹後市	～Kyoto Health Resort 京丹後～ てんとうむしばだけで自然とつながる農業体験と身体にやさしいランチ付きプログラム <レストランランチプラン>	京丹後市観光公社
	京都市	ウェルネスウォーキング&ホテルランチ	ザ・プリンス 京都宝ヶ池
兵庫	神戸市	ウェルネスウォーキング	株式会社らスイート 神戸みなと温泉蓮
	神戸市	乳がんリハビリヨガ	株式会社らスイート 神戸みなと温泉蓮
	神戸市	体力測定・運動能力チャレンジプログラム	株式会社らスイート 神戸みなと温泉蓮
	神戸市	ランニングクリニック	株式会社らスイート 神戸みなと温泉蓮
	神戸市	有馬温泉周辺の観光セラピーウォーキング&カジュアルヨーガ	有馬温泉太閤の湯
熊本	菊池市	阿蘇くじゅう国立公園 菊池渓谷散策ツアー	一般社団法人 菊池観光協会
	南阿蘇村	大自然阿蘇健康の森 基本プラン 3泊4日	株式会社阿蘇ファームランド
大分	竹田市	こころ・からだ よみがえる 健康ながゆ旅	特定非営利活動法人竹田市観光ツーリズム協会
沖縄	南城市	逃げ旅シリーズ 聖地リトリート	イーストホームタウン沖縄株式会社
韓国	京畿道楊平郡	ヤンピョン ヘルスツアー	ヤンピョン ヘルスツアーセンター
	慶尚南道咸陽郡	咸陽(ハミョン)山参ウェルネスヘルスツアー	咸陽郡庁 山参抗老化課
	慶尚南道山淸郡	サンチョン ウェルネスヘルスツアー	新活力プラス事業財団
台湾	台北市	東方美人茶トリートメントを体験 - リージェント台北 沐蘭(ムーラン)SPAの旅	リージェント台北
	台南市	健康旅遊 in 台南晶英酒店 ～ヘルスツーリズム in シルクスプレイス台南～	シルクスプレイス台南

15 | 千代田ツーリズムイノベーションベース (CTIB)



JSTA 事務局が入居している千代田区公共施設「万世橋出張所・区民館」の 5 階部分は、(一社)千代田区観光協会より観光関連事業を目的とした運用が可能な法人・団体に対して、JSTA が 1 フロアを貸付されており、2021 年 4 月よりツーリズム推進組織や関連事業者の拠点として「千代田ツーリズムイノベーションベース」(略称:CTIB)を運営している。

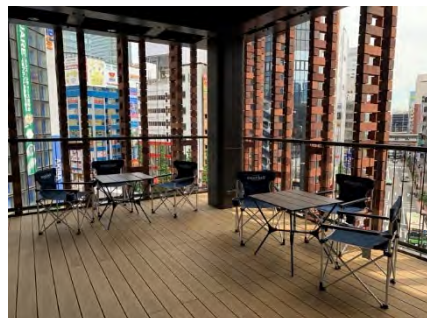
JSTA 会員、千代田区観光協会会員が優先的に利用できるスペースのほか、同所を通じて JSTA 会員と千代田区の観光に関連する組織間マッチングなど情報発信の場として活用していく。

○事業一覧

月	場所	実施内容
8 月	東京会館	千代田区観光協会 総会(欠席)
11 月	打合せ	新潟市文化・スポーツコミッション(JSTA 会員)、Akiba.tv(入居テナント)・千代田区観光協会 紹介・打合せ

○施設利用状況(全 5 室)

501	502	503	504	シェアスペース (JSTA を除く年間利用件数)
入居中	JSTA 事務局	入居中	入居中	127 件



5 階テラス



シェアスペース<デスク A>



シェアスペース<全スペース>

○千代田区にシェアスペースを提供

2024 年 3 月 千代田区商工観光課、

イベント「UPDATE EARTH プロジェクト」の控室としてシェアスペースを無償提供。

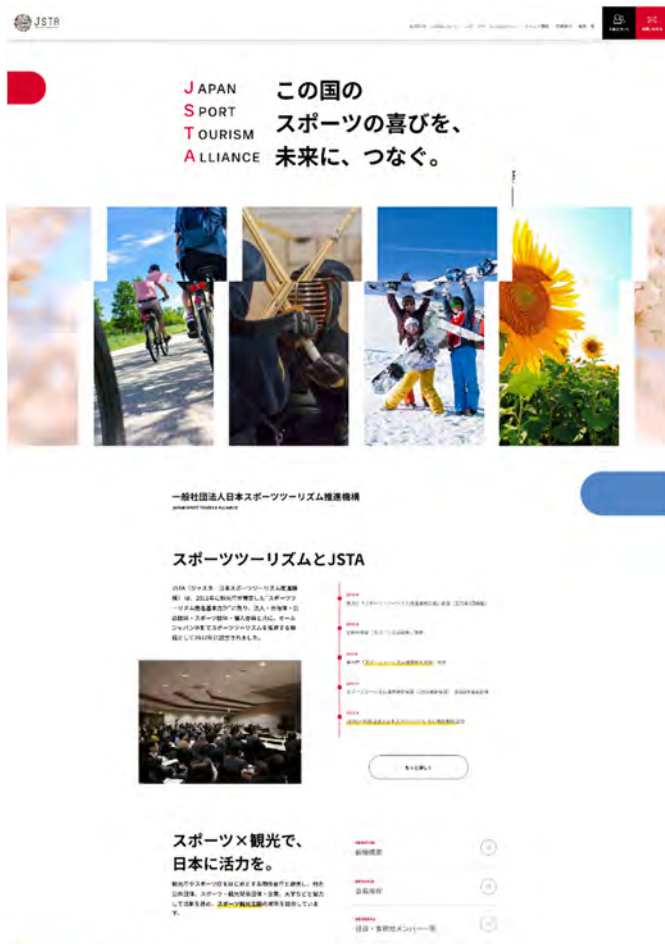
16 WEB サイトリニューアル



2023 年度より発足した広報委員会を中心に検討を行い、2024 年度末にリニューアルが完了した。

<https://sporttourism.or.jp/>

■ トップページ



17 | 2024年度 JSTA会員一覧



法人		公益法人	
1	株式会社梓設計	1	特定非営利活動法人出雲スポーツ振興 21
2	EY ストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社	2	一般社団法人ウェルネススポーツ鴨川
3	株式会社 ADK マーケティングソリューションズ	3	一般社団法人宇部市スポーツコミッション
4	株式会社 HM-A	4	一般社団法人 エス・インパクト
5	株式会社クラブビジネスジャパン	5	大分県スポーツ合宿誘致推進協議会
6	クリヤマ株式会社	6	おかやまスポーツプロモーション機構
7	クロススポーツマーケティング株式会社	7	郡上市スポーツコミッション
8	株式会社ザスマールシングス	8	一般社団法人公縁クロス機構
9	Japan Sports Week 事務局	9	全国ご当地マラソン協議会
10	株式会社 JTB	10	一般社団法人さいたまスポーツコミッション
11	株式会社 JTB コミュニケーションデザイン	11	静岡県西部地域スポーツ産業振興協議会
12	株式会社スペースマーケット	12	静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会
13	株式会社セレスポ	13	スポーツコミッション青森
14	株式会社セブンセンシズ	14	特定非営利活動法人スポーツコミッション秋田
15	株式会社ダスキン	15	スポーツコミッションせんだい
16	TSO International 株式会社	16	一般社団法人世羅町観光協会
17	テレビ愛知株式会社	17	特定非営利活動法人地域政策イノベーションフォーラム
18	東亜道路工業株式会社	18	一般財団法人千葉県まちづくり公社
19	株式会社トウショク	19	特定非営利活動法人銚子スポーツコミュニティ
20	東武トップツアーズ株式会社	20	一般社団法人千代田区観光協会
21	日本航空株式会社	21	一般社団法人ツノスポーツコミッション
22	株式会社日本総合研究所	22	十日町市スポーツコミッション
23	BALUE 株式会社	23	一般社団法人土佐町スポーツコミッション
24	BSP ファミリーオフィス株式会社	24	公益財団法人とっとりコンベンションビューロー
25	株式会社ヒト・コミュニケーションズ	25	長崎県スポーツコミッション
26	ヒューマンアカデミー株式会社	26	公益財団法人ながの観光コンベンションビューロー
27	株式会社マイナビ	27	長和町スポーツコミッション／信州・長和町観光協会
28	ミズノ株式会社	28	名古屋スポーツコミッション
29	株式会社 LIFULL	29	新潟市文化・スポーツコミッション
		30	公益社団法人日本観光振興協会
		31	一般社団法人日本ゴルフツーリズム推進協会
		32	一般社団法人日本チャレンジゴルフツアー協会
		33	特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構
		34	公益財団法人 前橋観光コンベンション協会
		35	一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパン

自治体		スポーツ団体	
1	愛知県	1	MLB JAPAN
2	石垣市	2	沖縄県サイクリング協会
3	いしのまきスポーツコミッション	3	世界野球ソフトボール連盟（WBSC）
4	上田市	4	公益財団法人全日本空手道連盟
5	宇都宮市	5	株式会社東京ユナイテッドバスケットボールクラブ（TUBC）
6	大館市	6	一般社団法人日本ウォーキングサッカー協会
7	岡山市	7	公益社団法人日本オリエンテーリング協会
8	鹿児島市	8	一般社団法人日本スノースポーツ&リゾーツ協議会
9	金沢市（金沢文化スポーツコミッション）	9	公益社団法人日本トライアスロン連合
10	香美町	10	一般社団法人ジャパンバレーボールリーグ
11	久喜市（久喜スポーツコミッション）	11	日本フリースタイルフットボール協会
12	熊谷市（熊谷スポーツコミッション）	12	日本ミニフットゴルフ協会株式会社
13	くまもつ旅スポコミッション（熊本県）	13	リアル野球盤協会
14	佐賀県（佐賀県スポーツコミッション）		
15	札幌市		
16	静岡県		
17	大仙市（大仙市スポーツツーリズムコミッション）		
18	千歳市		
19	千葉市		
20	鳥取県		
21	栃木県（栃木県スポーツコミッション）		
22	豊岡市		
23	豊田市		
24	長野県		
25	成田市		
26	韮崎市		
27	浜松市		
28	姫路市		
29	福井県（福井県スポーツまちづくり推進機構）		
30	豊後大野市（豊後大野市スポーツツーリズム推進協議会）		
31	三島市		
32	水戸市		
33	水俣市（スポーツコミッションみなまた）		
34	盛岡広域スポーツコミッション		
35	矢板市		
36	山梨県		
37	由利本荘市（由利本荘市スポーツ・ヘルスコミッション）		
38	横浜市		

2024年3月現在

法人会員・スポーツ団体・公益法人・自治体のみ掲載

